

市と多様な主体との協働に関する実績・評価（追加調査）について

1 調査の目的

市と市民活動団体等との協働事業について、市と協働の相手方の双方が事業の協働状況に関し自己評価・相互評価をし、浜松市市民協働推進条例に掲げる基本理念（対等性・公正性・透明性の確保、自主性・主体性の尊重等）にのっとり事業が行われているかを調査するもの。

2 調査方法

令和元年度に実施した市民活動団体等及び市が協働して実施した事業（193件）及び市から市民活動団体等への委託事業の中から調査対象事業を選定し、対象事業の相手方（市民活動団体等）と市担当課の双方から別添「追加調査票」により回答を求めた。

3 調査対象案件

- ・市民活動団体等と市との共催事業 35件（回答者数：市民活動団体等 28件、市担当課 35件）
- ・委託事業 5件（回答者数：市民活動団体等 5件、市担当課 5件）

4 回答結果

(1) 事業の目標設定と成果（事業についての評価・点検）

①共有した事業目的・目標

全ての案件で、市民活動団体と市が概ね同じ目的・目標を共有していた。

②協働による効果

		大変良かった	良かった	どちらとも言えない	あまり良くなかった	良くなかった	合計
共催	市民活動団体等	20	8	0	0	0	28
	市	20	15	0	0	0	35
	計	40	23	0	0	0	63
委託	市民活動団体等	5	0	0	0	0	5
	市	4	1	0	0	0	5
	計	9	1	0	0	0	10
合計		49	24	0	0	0	73

③要因の検証

②で回答があった協働による効果の要因について、7つの要因（資金、人材・人手、場所・資材、期間・スケジュール、ノウハウ、情報共有、市民ニーズ）を、「プラス要因」、「マイナス要因」、「どちらでもない」のうちから回答。市民活動団体等、市ともに全ての項目で「プラス要因」または「どちらでもない」との回答であった。

		資金	人材・人手	場所・資材	期間・スケジュール	ノウハウ	情報共有	市民ニーズ
市民活動団体等	プラス要因	16	28	31	23	22	31	26
	どちらでもない	17	5	2	10	11	2	7
	計	33	33	33	33	33	33	33
市	プラス要因	19	39	26	17	37	33	37
	どちらでもない	21	1	14	23	3	7	3
	計	40	40	40	40	40	40	40

④単独実施では難しかったり、できなかったりしたこと

市民活動団体の回答	市の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙掲載などによる、市民や関係団体への幅広い周知。 ・希望する規模（広さ、期間）での開催をすること（会場費の関係）。 ・市と協働していることで、事業の協力団体から、より一層社会貢献の意識をもって協力してもらえた。 ・地区全体への告知、当日の後方支援、打ち合わせ等の場所の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに対するサービスの提供について、市単独では、専門性の高いノウハウを活かした事業を実施することができなかった。 ・当日の会場案内等の人手の確保。 ・講師候補者の提案や選定にあたっての客観的な意見をいただくこと。 ・市単独では専門性や関連する地域コミュニティとの関わりが不足している。団体側の専門的知識のある人材や多様な視点により補うことができた。

(2) 協働したことについての経緯・評価・点検

①協働の経緯や決め手

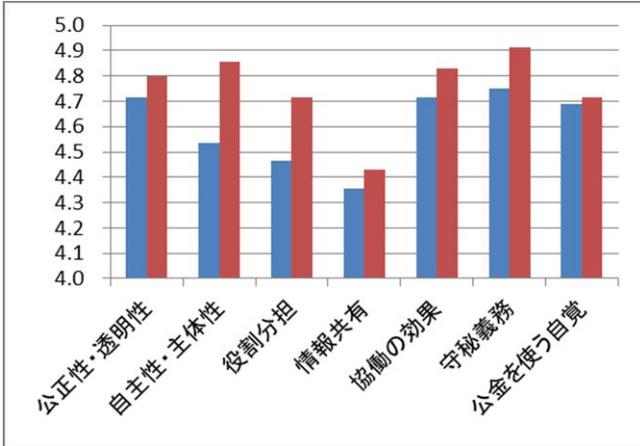
市民活動団体の回答	市の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市と共催することで、市民向けに広報を行うときに講座の信用度の向上につながるから。 ・市と協働で地域に働きかけ、広く周知することで団体活動の幅が広がり、活動目的の浸透を図ることができるから。 ・事業目的を達成するうえで、普段から地域団体の交流・活動場所である協働センターの発信力がいちばん効果があると判断したため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に身近な相手方と協働で実施することで、幅広く啓発ができると考えたから。 ・協働相手が地域の実情をよく理解しており、地域課題の解決に寄与していると考えたから。 ・団体が実施計画を企画するうえで問題となった会場の確保についての相談があったこと。協働センター事業として相手団体のノウハウを活かした事業実施ができるため。

③相互評価（5点満点）※平均点

【共催】

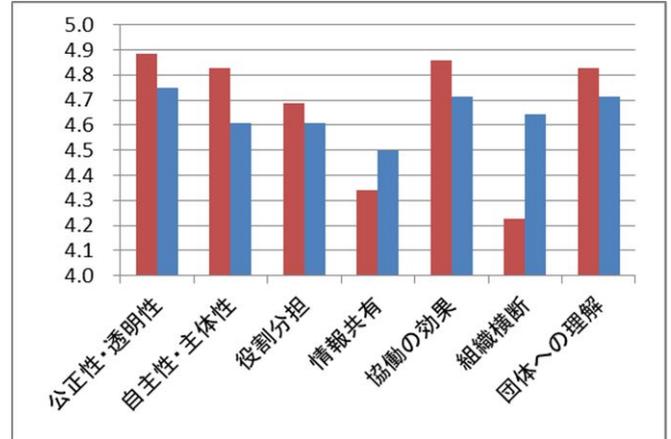
市民活動団体等に対する評価

■自己評価 ■市からの評価



市に対する評価

■自己評価 ■市民活動団体からの評価

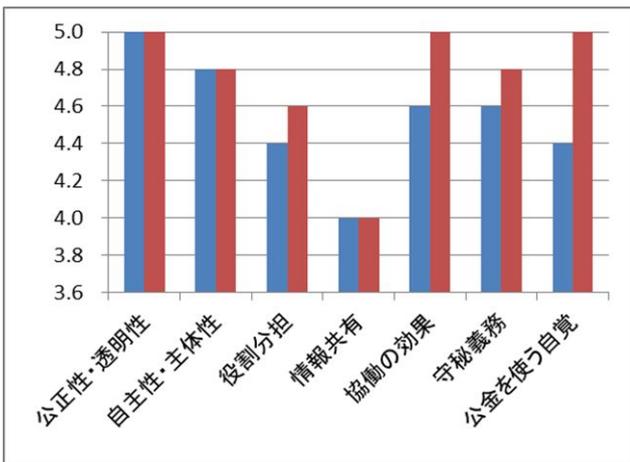


- ・全項目について平均点が4.2点以上である。
- ・双方に共通して「情報共有」の点数が他の項目に比べて低い。
- ・市民活動団体に対する評価、市に対する評価のいずれについても、市側の考える評価が高い傾向にある。

【委託】

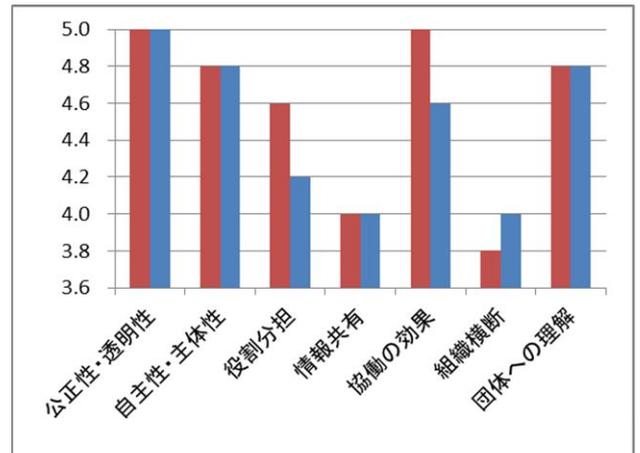
市民活動団体等に対する評価

■自己評価 ■市からの評価



市に対する評価

■自己評価 ■市民活動団体からの評価



- ・双方に共通して「④情報共有」の点数が他の項目に比べて低い。
- ・市民活動団体に対する評価、市に対する評価のいずれについても、市側の考える評価が高い傾向にある。

④改善の検討（上記項目のうち、特に改善が必要と感ずること）

	市民活動団体の回答数と内容	市の回答数と内容
共催	<p>双方が改善</p> <p>（役割分担）3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より一層、狙いを明確にしイベント時だけでなく、継続的に参加対象者にアピールできるような仕掛けを考えていきたい。 ・進行や広報など主体が不明確になる場面があった ・双方の役割分担が明確にできず、市側に頼ってしまう傾向があった。（会場の手配・準備・片付け） <p>（情報共有）4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有体制を整える必要がある（2件）。 ・当社担当者の人事異動が重なってしまったため、もう少し早い段階で情報交換ができればよかった。 ・適切なタイミングで連絡調整が必要であり、もう少しコミュニケーションがとれるとよかった。 	<p>（役割分担）6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双方の役割分担に曖昧な点があった（会場準備・片付け、当日の受付・進行など）（5件）。 ・告知や展示方法に、お互いにもっと創意工夫が必要だった。 <p>（情報共有）6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し意見交換等、連絡調整ができるとよかった（3件）。 ・コロナ禍ということもあり、事業内容の変更についてもっと速やかに情報交換できるようにしたい。 ・役割を明確に分担したが、進捗状況を共有する機会が少なかった。 ・イベント以外の内容で市民に対し健康情報を発信できるよう、今後の連携について検討していきたい。
	<p>市が改善</p> <p>（情報共有）1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を円滑に進めるため、進捗状況を細かく共有する必要がある。 <p>（組織横断）1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容について、課をまたいだ関連の情報提供があればさらによかった。 	<p>（自主性・主体性）1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の事前調整の際に、積極的に団体に意見を求める必要がある。 <p>（情報共有）1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を円滑に進めるため、進捗状況を細かく共有する必要がある。 <p>（協働の効果）2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市側の協働メリットを増やすために、事業の企画段階から関わった方が良かった。 ・集客方法や参加者の定着に向けた取り組みを検討する必要がある。
	<p>市民活動団体が改善</p> <p>（公正性・透明性）1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への呼びかけ（広報）を工夫し、幅広い世代の参加を増やしたい。 <p>（役割分担）5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの開催にあたり、関係者の日程調整が難しかった。今後早めに企画提案をしたい。 ・市民への周知など、役割を市に頼ってしまう傾向があった（4件）。 <p>（情報共有）5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの事前共有や進捗報告が 	<p>（公正性・透明性）2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込の締め切りの厳守について、周知の徹底をしてほしかった。 ・会場について浜松市内とするよう要望したが、会場の確保が困難であったことから市外での開催となり、市民への公平性の確保に疑問が残った。 <p>（役割分担）2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の特色をもっと発揮してもらえるとよかった。

	不十分だった (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・役割の一部を市に頼る傾向があった。 (情報共有) 2件 ・進捗状況が市側に伝わってこなかったときがあった (2件)。
--	-------------	---

		市民活動団体の回答数と内容	市の回答数と内容
委託	双方が改善	(役割分担) 1件 ・市側が事業実施の中でもっと情報提供を積極的に行う必要があった。団体側も、市に対して役割を依頼することが少なかったと感じる。 (情報共有) 2件 ・事前の情報共有をもっとするべきだったと感じた (2件)。	(役割分担) 1件 ・双方の役割分担に曖昧な点があった。 (情報共有) 2件 ・双方の意見交換を密にする必要がある。 ・当初の目標等の共有や進捗管理は行っていたものの、各講座実施に対する意見交換にまで至っていない。市側の視点と委託先の視点のすり合わせを行えると、よりよい事業になると考える。
	市が改善	(情報共有) 2件 ・業務の情報共有が不足していた。 ・事業の進捗に関わる情報交換を受託者とするだけでなく、地域課題解決のために関係する庁内部署との横断的情報交換を活発にすれば、事業実施による効果を高めることができる。 (公金を使う自覚) 1件 ・目的を達成するためにある程度の予算が必要である。	(自主性・主体性) 1件 ・協働相手の自主性・主体性を尊重するあまり、市の役割が小さくなってしまった。 (役割分担) 1件 ・さらに広報を充実させる必要があると感じた。
	市民活動団体が改善	(情報共有) 1件 ・行政との情報交換が進捗を共有する程度のものでなくなってしまった。 (守秘義務) 1件 ・市民活動団体側は、本事業で守秘義務の意識が希薄であったと感じている。	(役割分担) 1件 ・受託者側の事業従事者の中で、事業に対する意欲に差がみられた。 (情報共有) 1件 ・意見交換する場が少なかった感があり、団体側からもっと積極的な情報や意見の提供がほしかった。

⑤今後の市と市民協働団体との協働について

		積極的に進めたい	機会があれば進めたい	どちらとも言えない	あまり進めたくない	進めたくない	合計
共催	市民活動団体等	23	5	0	0	0	28
	市	30	5	0	0	0	35
	計	53	10	0	0	0	63
委託	市民活動団体等	4	0	0	1	0	5
	市	3	2	0	0	0	5
	計	7	2	0	1	0	10
合計		60	12	0	1	0	73

その理由について

市民活動団体の内容	市の内容
<p>【共催】 (積極的に進めたい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双方の繋がりや、それぞれが把握する情報を共有し合うことで、充実した講演や事例発表を実施することができた。今後も、協働事業を実施することで事業効果を高めていきたい。 ・市の広報によって、事業の周知ができ、来場者からも好評であった。 ・双方が目指す目的が一致しており、協働で継続実施することで、講演会やそれぞれが行う事業について、より広く市民へ周知できる機会となるため。 ・参加者への周知、講師の調整など、市と団体それぞれの強み・特性を活かして事業をスムーズに実施することができた。 ・会場の手配、広報、参加者の募集・調整などを市に対応いただいたおかげで、事業運営に専念することができた。 ・当事業を通して市だけでなく、他の共催企業とも今後につながる協働体制の構築ができた。単体では成し得ない相乗効果があったと実感しており、今後も積極的に協働を進めたい。 <p>(機会があれば進めたい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を広くPRできる機会があればうれしい。 	<p>【共催】 (積極的に進めたい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に人材面・ノウハウ面で団体との連携が不可欠である。今後も協働を積極的に進めることで、事務効率化及び市民サービスの向上に努めたい。 ・事業の周知方法について、積極的に意見交換をし、事業の質の向上につとめていきたい。 ・参加者への周知などに一定の効果があり、セミナーの内容も充実させることができた。当日の事業実施についてもスムーズに実施することができたため、今後も積極的に協働を進めていきたい。 ・民間事業者のノウハウを活用できる貴重な機会であり、今後も積極的に協働を進めていきたい。 ・双方の問題点をそれぞれが補う形の事業であり、今後もよりよい事業になるよう積極的に意見交換し、事業を実施していきたい。 ・単体実施では事業開催が難しかったと実感しており、団体の強み・特性を活かして事業を実施することができたため。 ・何度も意見交換をし、互いの持つ特性を活かすことができたため、スムーズに実施できた。今後も積極的に協働を進めていきたい。 <p>(機会があれば進めたい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの強み・専門性を活かして協働で事業を実施することで、円滑に、より充実した質の良い講座を開くことが可能なため。

<p>【委託】 (積極的に進めたい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体が事業に取り組む中で、市が事業に関わることで質が高まり、社会性が増すことがあり、市と市民活動団体と協働する必要性は高いものと感じている。特に企業や自治会などの参加・協力を得る場合、市民活動団体にとって、市との協働は信用度が高まり、大変効果的であると思う。 ・行政の行動原理は公平・公正性、NPO の特性は柔軟性と機敏性であると思うので、双方の専門性と強みを生かす形で協働を進めていかなければ豊かで安心できる社会が成り立たないと感じている。そのために協働を積極的にすすめる、双方の弱みも互いに理解できる信頼関係にあることが大切だと思うが、慣れ合うのではなく緊張関係は保っていききたい。 (あまり進めたくない) ・自らも自主的に実施してきた事業であるため、あまり必要性はない。 	<p>【委託】 (積極的に進めたい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と市民団体のそれぞれの強み・特性を生かし、互いに協力しながら、市民団体の活動を促進していきたい。 ・事業に取り組む関係者を広げていくため、今後も積極的に連携を図っていききたい。 ・行政とは異なる視点で活動が可能となることに魅力を感じる。委託という形だけでなく、様々な方法で協働ができるとよい。 (機会があれば進めたい) ・市が委託する業務内容を団体が受託したいと考え、それを遂行するに最適な団体であるという判断がなされる限り、委託していきたい。
--	--

⑥良かった点や改善提案

	市民活動団体の回答	市の回答
良かった点	<p>【共催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施後、ほかの課との事業連携につながった。 ・参加者への周知や研修会及び見学会会場の調整、研修会での説明をしていただき、大変良かった。今後は、さらに主体性を持って事業に携わっていききたい。 ・行政と団体のそれぞれの強みを生かした役割分担ができ、効果的な周知や講師の選定、講演会の運営ができた。 ・協働で行うことで、新規参加者の発掘ができた。 ・広報、参加者の募集・調整などを市に対応いただいたことで、参加者が安心して参加する機会を提供することができた。 <p>【委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の開催の周知及び募集は、市担当課から発信して頂くことで、確実かつスムーズに進められた。 	<p>【共催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働がなければ参加者は地域住民に限られていたことを考えると、当事業を共催で行うことで、多様な参加者の参加を促進できた。 ・双方のつながりを利用し、充実した講演や事例発表を実施できた。 ・自前で広告宣伝するには費用が発生するが、協働先に記事掲載していただき、高い宣伝効果が得られた。 ・事業実施にかかる団体側からの情報共有が、迅速かつ適切であった。 ・毎年度、継続して実施することで市民の認知度が高まっている。新規に参加された方も多くみられ、事業の目的が達成されたこと、親睦を深められたことが良かった。 <p>【委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の積極的な姿勢が感じられ、団体のノウハウを生かし、スムーズな進行と充実した内容の講座を開催

	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の事業担当者も参加者と同様に当日のプログラムを楽しみながらも、特別な事情をもつ参加者ケアに怠りがなく、多様な参加者と触れ合うことで地域課題を体感できる立ち位置で関わってくれた。 	<p>できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年、児童生徒への支援に携わっている団体であり、その経験を生かして業務を遂行できていた。 ・専門的な知識とコミュニティをもった委託先であったため、関係団体等への波及効果が高い。 ・地域で活動をする方々をつなぐ場にもなっており、これにより新しい市民活動が始まっている。
<p>改善提案、今後の課題</p>	<p>【共催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士の関係を深められる工夫が必要である。 ・参加者が、例年比較的年齢層が高い傾向にあるため、若い世代への働きかけが課題である。 ・コロナ禍でのセミナー開催についてオンラインセミナーの実施など、意見交換を密にし対応していきたい。 ・事前に関係者と当日までのスケジュールを共有し、随時、関係者の進捗確認ができると良かった。 <p>【委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度はコロナウイルス感染症の影響でシンポジウムの規模縮小を余儀なくされた、今後は取り組み事例のインターネット配信などデジタル化を進める事で広く発信していけるのではないかと考えている。 ・行政と市民の関係が、する人・される人である限り、される人はクレームを言う人になってしまう。市民を当事者として巻き込む仕組みが必要。また、委託事業が単なるアウトソーシングになってしまうと、行政スタッフが現場課題を把握しにくくなってしまふ恐れがあるため、その問題を解決できるような、協働事業たらしめる方策が必要。 	<p>【共催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民が参加するための周知方法の検討が必要。 ・日時や会場の選定について、市民が利用しやすいということを前提とする必要がある。 ・イベント開催時期と内容について、積極的に意見交換をして計画していきたい。 ・コロナ禍においてより多くの方に学んでいただけるように、これまでと異なる手法も取り入れながら学びの場を提供したい。 <p>【委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・SNSを活用し広報を増やす必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加者は目標に届かなかった。今後、資料のデジタル化の推進や、シンポジウムのオンライン配信など、現地参加でなくとも情報を得られる方法を検討していきたい。

⑦事業の総合的評価

		大変良かった	良かった	どちらとも言えない	あまり良くなかった	良くなかった	合計
共催	市民活動団体等	20	8	0	0	0	28
	市	21	13	1	0	0	35
	計	41	21	1	0	0	63
委託	市民活動団体等	3	1	1	0	0	5
	市	3	2	0	0	0	5
	計	6	3	1	0	0	10
合計		47	24	2	0	0	73

その理由について

市民活動団体の内容	市の内容
<p>【共催】 (大変良かった)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人として行政と連携した形での広報、活動報告は、社会に対して信用度を増すことができた。 ・市の担当課が、日程調整や広報など、大変協力的だったおかげでスムーズに実施することができた。 ・新規参加者が多く、目先を変えながら健康増進の目的が達成できていると思う。 <p>(良かった)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と協働で実施することで、より幅広い地域の市民へ健康情報の周知啓発をすることができた。 <p>【委託】 (大変良かった)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者のアンケートでは、講座に関する感想評価は全員が「大変よかった」と回答。満足度は高いものであった。 	<p>【共催】 (大変良かった)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケートでの参加者満足度が非常に高く、講座が実践的な内容であったことが高評価につながった。 ・講演とあわせて、市・団体がそれぞれ関連する事業を案内することで、市民の関心や各事業への参加意欲の向上につながると思われる。 ・地域・学校・協働センターが一緒になったことで、非常に良い事業となった。 <p>(良かった)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の抱える課題について、参加者と共に考え、解決につなげる場を設けられた。ただし、当事業の主な内容が基調講演や事例発表であったため、参加者同士の関係を深める仕立てが必要である。 ・大会本番は雨天のため、中止であったが、打合せを行い関係者と良好な関係を築くことができた。 <p>(どちらともいえない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者には興味、関心を持っていただくことができ、事業の目標を達成したといえるが、市民への普及という点では改善点があるため。 <p>【委託】 (大変良かった)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケートでは「大変よかった」との答えが大半で、前向きな意見が多かった。 <p>(良かった)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくりという観点で、継続して実施をしてきた。講座の受講生同士で繋がり、地域を巻き込んで新たな活動が始まっている。

(3)SDG s（持続可能な開発目標）について

①当事業と SDG s（持続可能な開発目標）との関連性を意識していたか？

		はい		いいえ		計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
共催	市民活動団体等	19	68%	9	32%	28	100%
	市	27	77%	8	23%	35	100%
	計	46	73%	17	27%	63	100%
委託	市民活動団体等	5	100%	0	0%	5	100%
	市	5	100%	0	0%	5	100%
	計	10	100%	0	0%	10	100%
合計		56	77%	17	23%	73	100%

②当事業が SDG s の、どの目標に関連していると考えるか？（複数回答可）

	共催				委託				計			
	市民活動団体等		市		市民活動団体等		市		市民活動団体等		市	
	回答数	回答事業数 (28)に対する 割合	回答数	回答事業数 (35)に対する 割合	回答数	回答事業数 (5)に対する 割合	回答数	回答事業数 (5)に対する 割合	回答数	回答事業数 (33)に対する 割合	回答数	回答事業数 (40)に対する 割合
①貧困をなくそう	3	11%	0	0%	1	20%	1	20%	4	12%	1	3%
②飢餓をゼロに	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
③すべての人に健康と福祉を	11	39%	19	54%	4	80%	2	40%	15	45%	21	53%
④質の高い教育をみんなに	4	14%	11	31%	2	40%	1	20%	6	18%	12	30%
⑤ジェンダー平等を実現しよう	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
⑥安全な水とトイレを世界中に	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	4	14%	3	9%	0	0%	0	0%	4	12%	3	8%
⑧働きがいも経済成長も	2	7%	0	0%	1	20%	1	20%	3	9%	1	3%
⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	1	4%	1	3%	1	20%	1	20%	2	6%	2	5%
⑩人や国の不平等をなくそう	2	7%	1	3%	2	40%	1	20%	4	12%	2	5%
⑪住み続けられるまちづくりを	9	32%	8	23%	3	60%	1	20%	12	36%	9	23%
⑫つくる責任つかう責任	4	14%	0	0%	0	0%	1	20%	4	12%	1	3%
⑬気候変動に具体的な対策を	3	11%	2	6%	0	0%	0	0%	3	9%	2	5%
⑭海の豊かさを守ろう	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
⑮陸の豊かさを守ろう	0	0%	0	0%	0	0%	1	20%	0	0%	1	3%
⑯平和と公正をすべての人に	1	4%	1	3%	1	20%	0	0%	2	6%	1	3%
⑰パートナーシップで目標を達成しよう	11	39%	9	26%	2	40%	3	60%	13	39%	12	30%
計	57	-	55	-	17	-	13	-	74	-	68	-

(3) その他

市民活動団体	市
<ul style="list-style-type: none">・市は事業制度のPRやこれまでの事業を紹介する取組みを積極的に実施し、市民活動団体に提案を考える場を提供してもらいたい。・行政サービスという言葉はあるが、市民に対する一方的なものではなく、市民とともに課題を共有し解決していくことが大切だと感じている。そのために行政自身から弱みも含めた情報公開がなされ、市民もその弱みを受容しながら共に改善していける自立した市民になることができるとよいと思っている。そのための仕組み作りとして、受託事業の中で外部委員会を設け、行政、受託事業者、関係市民とコミュニケーションしながら事業を進めるオープンな受託事業の受け方も一つの方法だと思う。	<ul style="list-style-type: none">・単発事業として終了するのではなく、市民団体が活発に継続して活動できる環境づくりを検討していきたい。

5 総評

今回の対象事業である共催事業、委託事業とも、市民活動団体等と市との双方から、協働することで高い効果・成果を得られたという回答が見られ、それぞれが持つ人脈、調整力、専門性など、強みや特性を生かした事業の実施を期待し合っていることが分かった。

特に市民活動団体等からは市に対し、事業の周知・広報面における情報発信力や事業に対する信用力の付与を期待する声が多く、市から市民活動団体等に対しては、団体が持つ専門性・ノウハウを期待するとの回答が多く見られた。

協働での事業実施に関して互いに対する高い評価が見られる一方、事業を進めるうえでの課題として事前に役割分担を明確にすることや、進捗状況等についての情報共有を互いにもっと積極的に行う必要があったという意見が多かった。

SDGs に関しては、7割以上の事業において事業との関連性を意識していたとの回答であった。事業の目的や効果をあらためて検証する上で、世界的な目標との関連性を意識することは意義があるものと考えられる。

コロナ禍においても事業効果を生み出せるよう、SNS を活用した広報やイベントのオンライン配信など、協働での事業実施の中でこれまでと異なる運営手法を用いて取り組むことが求められる。